

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰要領

昭和53年9月12日付発農政第152号

鳥取県農林水産部長通知

一部改正	平成20年6月27日付第200800047311号
一部改正	平成23年5月6日付第201100018952号
一部改正	平成23年5月11日付第201100024684号
一部改正	平成25年5月30日付第201300034917号
一部改正	平成28年2月23日付第201500163439号
最終改正	平成31年3月28日付第201800353080号

第1 目的

この要領は、鳥取県における農林水産業の発展並びに、その技術及び経営の改善意欲の高揚を図るため、鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事において行う知事表彰（以下「表彰」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

第2 表彰の対象者

表彰は次に掲げる者に対して行う。

なお、1、4及び5にあつては、農林水産業経営への夫婦の参画の状況が明らかであり、かつ、経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合は、夫婦を表彰の対象とすることができる。

また、4、5及び6にあつては、近年の農林水産業の課題（環境保全、有機農業、低コスト林業、新しい漁業経営等）に意欲的に取り組んでいる者及び組織についても、表彰の対象とすることができる。

1 優秀経営農林水産業者

農林水産業を営み、その経営が特に優秀と認められる者（個人及び法人を対象とする。ただし、優秀経営農林水産業者として表彰を受け、満3か年経過しない者を除く。）

2 農林水産業功労者

農林水産業の発展に多大の功績があったと認められる者

3 優秀集落営農組織

農用地の利用調整等の活動に積極的に取り組み、その成果が優秀な地域農業集団及び農用地利用改善団体（以下「集落営農組織」という。）

4 未来を担う青年農林水産業者

農山漁村において、担い手又は補助者として意欲的に取り組んでいる者。

5 いきいき農林水産業者

生き活きと農林水産業及び農林水産加工品の開発・商品化等に取り組み、地域に貢献している者。

6 いきいき農林水産業組織

生き活きと農林水産業及び農林水産加工品の開発・商品化等に取り組み、地域に貢献している組織。

第3 表彰点数

表彰点数は、おおむね別表第1に定めるとおりとする。

第4 表彰対象者の推薦

1 優秀経営農林水産業者

(1) 市町村長（漁業者にあつては、漁業協同組合長。以下同じ。）は候補者を選定し推薦書（様式第1号）に調書（様式第2号）及び候補者の業績概要（別紙様式）

を添えて、所管の地方事務所等の長（東部農林事務所長、東部農林事務所八頭事務所長、中部総合事務所長、西部総合事務所長、西部総合事務所日野振興センター所長および漁業者にあつては、水産振興局長。以下「地方事務所等の長」という。）に推薦する。

(2) 地方事務所等の長は、市町村長から推薦された候補者に順位を付け、推薦書(様式第3号)に調書(様式第2号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

(3) 別表第1に定める農林水産業関係団体の長は候補者を選定し、推薦書(様式第1号)に調書(様式第2号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて、毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

2 農林水産業功労者

(1) 地方事務所等の長は、市町村長と協議の上、候補者(次号によるものを除く。)に順位を付け、推薦書(様式第4号)に調書(様式第5号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

(2) 別表第1に定める農林水産業関係団体の長は、第5の2に該当する候補者を選定し、推薦書(様式第4号)に調書(様式第5号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて、毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

3 優秀集落営農組織

(1) 市町村長は候補集落等を選定し、推薦書(様式第6号)に調書(様式第7号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて、所管の地方事務所等の長に推薦する。

(2) 地方事務所等の長は、市町村長から推薦された候補集落等に順位をつけ、推薦書(様式第6号)に調書(様式第7号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて、毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

4 未来を担う青年農林水産業者

地方事務所等の長は、市町村長と協議の上、候補者に順位を付け、推薦書(様式第8号)に調書(様式第9号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

5 いきいき農林水産業者

(1) 市町村長は候補者を選定し推薦書(様式第10号)に調書(様式第11号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて、所管の地方事務所等の長に推薦する。

(2) 地方事務所等の長は、市町村長から推薦された候補者に順位を付け、推薦書(様式第10号)に調書(様式第11号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

6 いきいき農林水産業組織

(1) 市町村長は候補組織を選定し推薦書(様式第12号)に調書(様式第13号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて、所管の地方事務所等の長に推薦する。

(2) 地方事務所等の長は、市町村長から推薦された候補組織に順位を付け、推薦書(様式第12号)に調書(様式第13号)及び候補者の業績概要(別紙様式)を添えて毎年知事が定める日までに知事に推薦する。

第5 審査基準

1 優秀経営農林水産業者

次の(1)の要件を満たす農林水産業者で、(2)から(8)までの要件のうち最低5項目を満たすものとする。ただし、規模等は、別表第2に定める基準以上とする。

(1) 経営簿記、労働簿記又はこれに類する記帳と決算が行われ、生産性が高く、農林水産業所得が一定水準(鳥取県農業経営基盤強化促進基本方針において目標とされている年間農業所得を目安とする。)以上であると認められること。

なお、農林水産業を営む法人にあつては、単年度の経常利益が黒字であること。

- (2) 立地条件からみて、経営が合理性と安定性をもっていること。
- (3) 経営が近代化、拡大化の方向をたどっていること。
- (4) 生産基盤の整備、資本装備の投資がかなり行われ、その利用効率が高いこと。
- (5) 土地利用及び労働力利用が合理的であること。
- (6) 栽培技術、飼育技術その他の技術が優れていること。
- (7) 労務管理、土地管理その他経営全体の管理について配慮されていること。
- (8) 経営が計画性をもち、経営者の経営改善意欲が大きいこと。

2 農林水産業功労者

次のいずれかに該当すること。

- (1) 永年にわたり農林水産業に従事し、農林水産業の改良発展に著しい功労があること。
- (2) 農林水産業に係る主要団体等の役職に従事し、その功績が顕著であること。

3 優秀集落営農組織

- (1) 組織等の活動内容及びその成果が優れ、波及効果の高いもので賞賛に値するものであること。
- (2) 集团的土地利用調整活動等を通じて中核的担い手農家の育成、経営規模の拡大、農作業の効率化及び農用地利用度の向上等に積極的に取り組み、他の模範であること。

4 未来を担う青年農林水産業者

- (1) 将来とも農林漁業を継続する見込みのある者で、45歳未満の者であること。
- (2) 意欲的に新技術を導入するなど、自らの創意工夫を生かして農林漁業に取り組んでいる者又は近年の農林水産業の課題（環境保全、有機農業、低コスト林業、新しい漁業経営等）に意欲的に取り組んでいる者であること。
- (3) 積極的に地域活動に参加していること。

5 いきいき農林水産業者

- (1) 農林漁業に楽しく意欲的に取り組んでいる者又は近年の農林水産業の課題（環境保全、有機農業、低コスト林業、新しい漁業経営等）に意欲的に取り組んでいる者であること。
- (2) 地域に貢献しており、他の地域への波及効果が期待できる者であること。

6 いきいき農林水産業組織

- (1) 農林漁業に楽しく意欲的に取り組んでいる組織又は近年の農林水産業の課題（環境保全、有機農業、低コスト林業、新しい漁業経営等）に意欲的に取り組んでいる組織であること。
- (2) 地域に貢献しており、他の地域への波及効果が期待できる組織であること。

第6 被表彰者の決定

- 1 知事は、第4により推薦のあった候補者について、知事の依頼した審査員により審査を行い、被表彰者を決定する。
- 2 表彰は、表彰状を授与するとともに、必要に応じ記念品を贈呈する。
- 3 優秀経営農林水産業者のうち、特に優秀と認められるものについては、農林水産大臣賞の交付を申請する。
- 4 農林水産大臣賞については、当該表彰部門における農林水産業経営への夫婦参画の状況が、次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあつては、夫婦連名で表彰することができる。

ただし、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞に限る。

- (1) 家族経営協定を締結していること。
- (2) 推薦書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が夫婦のおおむね5

- 割に達していることを確認できること。
- (3) 農業改良普及所又は農林漁業についての類似の普及指導組織等による意見書が添付されていること。

別表第1

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰点数 50点以内

- 1 優秀経営農林水産業者 20名以内
(第4の1の(3)関係)

推薦団体	備考
鳥取県産米改良協会 鳥取県農業協同組合中央会 全国農業協同組合連合会鳥取県本部 西日本たばこ耕作組合 大山乳業農業協同組合 鳥取県畜産推進機構 鳥取県養鶏協会 鳥取県山林樹苗協同組合 鳥取県森林組合連合会 鳥取県椎茸生産組合連合会 鳥取県内水面漁業協同組合連合会	

- 2 農林水産業功労者 9名以内
- 3 優秀集落営農組織 3集落営農組織以内
- 4 未来を担う青年農林水産業者 8名以内
- 5 いきいき農林水産業者 }
 6 いきいき農林水産業組織 } あわせて10名(組織)以内

別表第2

優秀経営農林水産業者の生産規模・経営規模等の最低基準

農産	園芸	畜産	蚕糸・特産	林産	水産
耕地1ヘクタール以上の経営	耕地1ヘクタール以上の経営 ただし、施設園芸については、耕地50アール以上の経営 果樹園50アール以上の経営	乳用牛 経産牛10頭以上の経営 肉用牛 5頭以上の経営 豚 子取りめす豚 15頭以上の経営 採卵鶏 5,000羽以上の経営 ブロイラー 年間出荷羽数 60,000羽以上の経営	耕地1ヘクタール以上の経営 ただし、茶、こんにゃく及びその他地域の特産農作物に係わる施設園芸については50アール以上の経営 桑園 40アール以上の経営	林地 5ヘクタール以上の経営 苗ほ 50アール以上の経営 しいたけほだ木 6,000本以上の経営 若しくは 特用林産物の総生産額100万円以上の経営	平年水揚げ高 300万円以上の漁業経営

様式第1号

優秀経営農林水産業者推薦書

○ ○ ○ ○ ○ ○ 所 長
鳥取県農林水産部水産振興局長 } 様
鳥 取 県 知 事 }

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事における優秀経営農林水産業者表彰の候補者として下記のとおり推薦します。

年 月 日

市 町 村 長

印

○○連合会（組合）長

記

主 部 門	住 所	氏 名	性別	年齢

優秀経営農林水産業者推薦調書記載要領

記載項目 内 容 の 記 載 要 領

- 2の(1) 法人経営の場合の従業員の数は、常勤雇用の従業員の人数を記入すること。
- (2) 農業部門＝田 a、普通畑 a、樹園地 a、牧草地 a、永年性飼料畑 a、放牧地 a
畜産部門＝肉用牛頭、乳牛頭（内搾乳牛頭）、豚頭、食鶏千羽、採卵鶏千羽
林業部門＝林地 a（内造林地 a）、苗ほ a、しいたけほだ木千本
水産部門＝漁船隻、トン、漁網の種類と数量
- (3) 規模拡大した耕地面積、家畜の飼養頭羽数、山林面積、しいたけほだ木の本数、漁船、漁網及びハウス等生産施設の内容を（2）に準じて記入すること。
- (4) 耕地整備した内容、面積又は延長、草地改良した面積等生産基盤の整備状況を記入すること。
- (5) 耕うん用、収穫用、脱穀調製用、乾燥用、加工用、病虫害防除用その他の機械で導入したものの種類等を記入すること。
- (6) 納屋、畜舎、加工用、乾燥用、貯蔵用、処理用、育苗用その他の建物施設の設置状況を記入すること。
- (7) 主要作物の種類別作付面積、合計利用面積、土地利用率を記入すること。
- (8) 自家労働と雇用労働の部門別労働日数と年間合計日数を記入すること。
- (9) 米、麦、大豆、野菜、果実、工芸作物その他の作物、繭、畜産物、木材その他の林産物、水産物の生産量、販売数量及び販売金額を記入すること。
- (10) 販売収入又は売上高は、(9)の販売金額の合計額と同額を記入すること。
- (11)(12) 具体的にその内容を記入すること。
- (13) 記帳の開始時期、経営、生活改善への活用状況及びそれによって現れた効果を記入すること。
- (14) 関係する農林漁業団体における主な役職歴を記入すること。
- (15) 女性の活躍を推進する取組・経営管理、又は女性が顕著な貢献をしている取組・経営管理がある場合に記入すること。
- 3 要領第5の1の条件に該当し、特に優れている状況について、具体的に記入すること。

優 秀 経 営 農 林 水 産 業 者 推 薦 調 書

1 候補者の氏名等

氏 名	
住 所	

(注) 法人経営の場合は、氏名の欄に法人の正式名称、代表者の職・氏名を記入すること。

2 主要部門についての経営概要

(1) 経営体の概要

ア 個人(家族)経営の場合 [家族経営協定の有無 有 ・ 無]

氏 名								
年 齢								
続 柄								
農林漁業従事日数	日	日	日	日	日	日	日	日

(注) 農林漁業従事日数の1日は8時間を目安とし、半日ずつ2日間従事した場合は1日と換算する。ただし、1日に8時間以上働いても1日とする。

イ 法人経営の場合 [設立年月日 年 月 日]

役 員 の 数	人	役 員 の 氏 名					
従 業 員 の 数	人	年 齢					
うち農林漁業従事者数	人	役 職 名					
農林漁業従事延べ日数	日	農林漁業従事日数	日	日	日	日	日

(注) 農林漁業従事日数の1日は8時間を目安とし、半日ずつ2日間従事した場合は1日と換算する。ただし、1日に8時間以上働いても1日とする。

(2) 経営の規模

区分 項目	田	普通畑	樹園地				牧草地	永年性 飼料畑	放牧地	計
			計	果樹	茶	桑				
面積	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
うち	自作地									
	借地									

区分 項目	林地		苗木	計
	計	うち造林地		
面積	a	a	a	a
うち	自作地			
	借地			

ハウス等 生産施設					
	棟	m ²	棟	m ²	
棟数面積					

肉用牛		乳牛		豚		食鶏	採卵鶏	しいたけほだ木
繁殖	肥育	総数	内搾乳牛	繁殖	肥育			
頭	頭	頭	頭	頭	頭	千羽	千羽	千本

漁船		漁網	
船数	大きさ	種類	数量
隻	トン		

(3) 過去5年間で経営規模を拡大した内容

種 類	耕 地				家 畜			山 林		しいたけ ほだ木	漁 船		漁 網
								計	うち造林地		船 数	大 き さ	
面積頭羽数	a	a	a	a	頭	頭	頭	a	a	千本	隻	トン	

ハウス等 生産施設						
	棟 数	面 積	棟 数	面 積		
棟、面積	棟	m ²	棟	m ²		

(4) 生産基盤の整備状況

事 業 名						
実 施 年 度						
地 目						
面 積	a	a	a	a	a	a

(5) 原動機付き機械器具の所有状況

農機具の種類								
能 力、性 能								
所 有 形 態								
台 数								

(注) 共有の場合は $\frac{1}{\bigcirc}$ と記入すること。○は共有戸数。個人所有の場合は1と記入すること。

(6) 建物等施設の設置状況

種 類													
棟数、面積等													

(7) 前年の土地利用状況

作 目 名	田							普 通 畑						
						計	利 用 率						計	利 用 率
作付面積	a	a	a	a	a	a	%	a	a	a	a	a	a	%

作 目 名	樹 園 地						
						計	利 用 率
作付面積	a	a	a	a	a	a	%

(8) 前年の部門別の労働状況

自家、雇用の別	作目名等												計	
														その他
自 家 労 働	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
雇 用 労 働	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

(注) 法人経営の場合は、「自家労働」の欄に役員及び常勤雇用者の労働日数を、雇用労働の欄には臨時雇用者の労働日数を、それぞれ部門別に記入すること。

(9) 前年の生産販売状況

品名										計
生産数量										
販売	数量									
	金額	円	円	円	円	円	円	円	円	円

(注) 生産数量、販売数量はkg、t、本、頭、羽で表すこと。(例○○kg、○○本、○○頭等)

(10) 前年の年間所得

ア 個人(家族)経営の場合

販売収入 (A)	その他農林漁業収入 (B)	総収入 (C)=(A)+(B)	経営費 (D)	農林漁業所得 (E)=(C)-(D)	うち専従者給与	備考
円	円	円	円	円	円	

イ 法人経営の場合

売上高 (A)	売上原価 (B)	売上総利益 (C)=(A)-(B)	販売費・一般管理費 (D)	うち役員報酬	営業利益 (E)=(C)-(D)	営業外利益 (F)	営業外費用 (G)	営業外損益 (H)=(F)-(G)	経常利益 (I)=(E)+(H)
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

(11) 最近における経営改善の主な内容

経営改善事項	改善の主な内容

(12) 優れている技術の内容と努力の状況

優れている技術	その内容と努力の状況

(13) 簿記の記帳状況とその活用状況

簿記の種類	記帳開始時期	活用状況
	年	

(14) 主な職歴

就任期間	役職名
年 月 ~ 年 月	

(注) 法人経営の場合は、現在の代表者が当該法人以外の団体の役職に就いた期間があれば記入すること。

(15) 女性の活躍状況 (女性が働きやすい環境整備、女性の積極的な登用、女性の事業発展への貢献、波及性・普及性)

--

3 推薦理由

--

(注) 推薦理由を300字程度でまとめること。

様式第3号

優秀経営農林水産業者推薦書

鳥取県知事様

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事における、優秀経営農林水産業者表彰の候補者として予備審査の結果、下記のとおり、順位をつけて推薦します。

年 月 日

〇 〇 〇 〇 〇 〇 所 長
水 産 振 興 局 長
(公 印 省 略)

記

順位	主部門	住 所	氏 名	性別	年齢

(注) 主部門は、農産、園芸、畜産、蚕糸、林産、水産の区分を記入すること。

様式第4号

農 林 水 産 業 功 労 者 推 薦 書

鳥 取 県 知 事 様

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事における、農林水産業功労者表彰の候補者として予備審査の結果、下記のとおり、順位をつけて推薦します。

年 月 日

○ ○ ○ ○ ○ ○ 所 長
水 産 振 興 局 長
(公 印 省 略)

記

順位	主部門	住 所	氏 名	性別	年齢

様式第5号

農 林 水 産 業 功 労 者 推 薦 調 書

ふりがな 氏 名		性別		年齢	
住 所					

項 目		記 載 内 容
経 営 の 概 況	経 営 の 規 模	
	機 械、建 物 施 設 の 整 備 状 況	
特 に 推 薦 す る 理 由	特 性 行	
	指 導 的 立 場 に お け る 業 績	

様式第6号

優 秀 集 落 営 農 組 織 推 薦 書

様

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事における優秀集落営農組織表彰の候補者として下記のとおり推薦します。

年 月 日

印

記

順位	地 域 農 業 集 団 名	所 在 地

優秀集落営農組織推薦調書

1	市町村・地区名 <small>(ふりがな)</small>	市町村	地区(集落数)
2	集 団 名 <small>(ふりがな)</small>	(代表者名)	
3	設 立	年 月 日	(農用地利用規程の認定 年度)
4	地域の概況 (1) 経済地帯 (2) 地域指定 (3) その他	(都市近郊、 平地農村、 農山村、 山村) 年度 _____ 年度 _____ 年度 _____ (位置) (地勢) (気象)	
5	農業構造及び農業生産の特徴	(1) 農業構造	
		(2) 農業生産	
		(3) 主な営農類型	
6	集 団 活 動 の 概 要	(1) 集団設立の契機と発展の経過	
		(2) 組織と運営の特徴 (推進体制図は別紙で添付すること)	
		(3) 集団活動の特徴と内容(先駆性、創意工夫を中心に)	

つづき	(4) 農地の有効利用、 流動化取組の特徴	
集	(5) コミュニティー・ 文化活動	
団	(6) 生活・環境改善	
活 動 の 概 要		
7 活 動 の 成 果		
8 今 後 の 課 題		
9 推 薦 の 理 由		
10 表 彰 歴		

様式第8号

未来を担う青年農林水産業者推薦書

鳥 取 県 知 事 様

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事における、未来を担う青年農林水産業者の候補者として予備審査の結果、下記のとおり、順位をつけて推薦します。

年 月 日

○ ○ ○ ○ ○ ○ 所 長
水 産 振 興 局 長
(公 印 省 略)

記

順位	氏 名	住 所	性別	年齢

様式第9号

未来を担う青年農林水産業者推薦調書

氏 <small>(ふりがな)</small> 名		性別		年齢	
住 所					
経 営 概 況	経 営 規 模				
	主 な 取 り 組 み				
	そ の 他 特 記 事 項				
推 薦 理 由					

様式第10号

いきいき農林水産業者推薦書

様

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事における、いきいき農林水産業者の候補者として予備審査の結果、下記のとおり、順位をつけて推薦します。

年 月 日

印

記

順位	氏 名	住 所	性別	年齢

様式第11号

いきいき農林水産業者推薦調書

氏 <small>(ふりがな)</small> 名		性別		年齢	
住所					
経営概況	経営規模				
	主な取り組み				
	その他特記事項				
推薦理由					

様式第12号

いきいき農林水産業組織推薦書

様

年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰行事におけるいきいき農林水産業組織の候補者として下記のとおり推薦します。

年 月 日

印

記

順位	組 織 名	所 在 地

様式第13号

いきいき農林水産業組織推薦調書

組 織 名			
所 在 地			
代 表 者 名		構 成 員 数	
活 動 の 特 徴 と 内 容			
活 動 の 成 果			

組織の活動体制	
今後の課題	
推薦理由	

(別紙様式)

候補者の業績概要

1 業績概要 (全角 300 文字程度)

--

注 1 被表彰者の取組内容を全角 300 文字程度で、「です」「ます」調で記載すること。

注 2 文章の表現は、農林水産業功労者については三人称 (例：(氏) は〇〇に取り組まれています。) で、その他の表彰区分については一人称 (例：私は〇〇に取り組んでいます。) とすること。

2 農林水産業に対する姿勢

【キャッチフレーズ、モットー(全角 15 文字以内)】

【キャッチフレーズ、モットーの簡単な説明、本人の思い(全角 50 文字程度)】

3 その他留意事項等

- (1) 本様式は、審査の補完資料として活用する。また、表彰式典等で展示する被表彰者紹介パネルなど、業績を紹介する資料に活用することから、専門用語の使用は極力控え、誤字・脱字に注意すること。なお、やむを得ず専門用語を使用する場合は、括弧書きで注釈を加えること。
- (2) 被表彰者が作業現場にて笑顔で写っている鮮明な写真 (2MB 以上) 2～3 枚を添付すること。
なお、夫婦連名の受賞の場合は夫婦が一緒に写っている写真を、法人・団体の受賞の場合は構成員ができるだけ多く写っている写真を添付すること。
- (3) 本様式および写真は、それぞれ次のファイル形式にて提出すること。

本様式：Word ファイル、写真：JPEG ファイル